図書館だより　2025年５月号

HP　instagram

相生市立図書館　〒678-0053　相生市那波南本町11-1　☎0791-23-5151

今年度も「みんなあつまれ！子ども劇場」をたくさん開催します！

令和７年度も、相生市立図書館ボランティアグループ「子ども劇場」によるイベントが盛りだくさん！今年度は、おはなし会、パネルシアター、人形劇、トーンチャイム、リコーダー、音楽会、えいが会など全25回を予定しています。本格的な演出や、参加型の音楽会など、子どもも大人も楽しめることまちがいなしです！昨年度に引き続き「こどもげきじょうスタンプカード」も実施します。スタンプが５こ集まるごとにプレゼントがもらえます。今後の予定は、図書館だよりやホームページなどでお知らせします。また、天候等により日程変更する場合は、相生市立図書館ホームページでお知らせしますので、チェックしてくださいね。

図書館からのお知らせ

蔵書点検のため休館します

5 月 22 日(木)から 5 月 26 日(月)は、蔵書点検のため休館します。蔵書点検とは、図書館に所蔵されている本のバーコードを 1 冊 1 冊スキャンし、データと照合して、本がきちんと館内にあるか、置かれている場所は合っているかを点検する作業です。これまでは 2 週間程度の作業でしたが、効率化を図り、今年から 5 日間のみ休館とさせていただくことになりました。休館中は図書館正面玄関横の返却ポスト、市内公民館、駅前情報ラウンジで返却のみ可能です。電話・ホームページでの延長・予約等の手続きもできなくなりますのでご注意ください。皆様にはご理解とご協力をお願いいたします。

ブック・デリバリーのご案内

ブック・デリバリーとは、図書館への来館が困難な方や、学校・施設などに本を届けるサービスです。今年度からは、様々な理由から図書館への来館が困難な方を対象にご自宅まで本を届けるサービスを拡大します。ご希望の方は、図書館までお電話かメールでお問合せください。配達日時やお届けする本の内容などを伺います。対象は、相生市在住で相生市立図書館の利用者カードをお持ちの方です。未登録の方は先に利用登録が必要ですので、ぜひご相談ください。

公民館にも新刊の小説を所蔵しています

今年度より市内 6 ヶ所の公民館等でも新刊の小説を所蔵しています。図書館に来館しにくい方や公民館のお近くにお住まいの方は、ぜひご利用ください。図書館ではたくさん予約が入っている本が少し早く借りられるかもしれません。貸出方法や返却期限については、各公民館にご確認ください。

休館日カレンダー

	日	月	火	水	木	金	土
5月					1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	31

	日	月	火	水	木	金	土
6月	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30					

休館日　　※5月22日(木)～5月26日(月)は蔵書点検のため休館です

イベント

リサイクルフェア

今回は、保存期間の過ぎた新聞・雑誌をお持ち帰りいただけます。

より公平に多くの方にご利用いただけるよう、ご協力をお願いいたします。

日時　５月３日（土）９：00～19：00 /　５月４日（日）９：00～17：00

場所　相生市立図書館　３階　視聴覚室

対象　どなたでも

申込　不要（直接会場へお越しください）

※5/3 のみ、雑誌は１人２０冊まで、入場回数は１人１回とさせていただきます。

【工作ライブラリー】やさい de アート

やさいスタンプをつかって自分だけのアートをつくろう！やさいに関する本の紹介もありますよ！

日時　５月５日（月・祝）10：30～16：00

場所　相生市立図書館　３階　視聴覚室

対象　どなたでも

定員　先着 30 名程度

申込　不要（直接会場へお越しください）

読書会

課題図書を読んで集まり、その本の好きなところや感想を気軽に語り合いませんか。

今回の課題図書は『金閣寺』三島由紀夫／著（新潮文庫他）です。

日時　５月 10 日（土）10：30～12：00

場所　相生市立図書館　３階　視聴覚室

対象　どなたでも

定員　先着 15 名程度

申込　不要（直接会場へお越しください）

【子ども劇場】おはなし会

絵本のよみきかせやおはなしなど、小さなお子さまから大人まで楽しんでいただます。

日時　５月 11 日（日）11：00～11：30

場所　相生市立図書館　３階　えほんのへや・おはなしのへや

対象　幼児・児童

定員　先着 30 名程度

申込　不要（直接会場へお越しください）

※「こどもげきじょうスタンプカード」対象イベント

ブックガイド

文学賞の受賞作・映像化作品・新聞の書評情報などをご案内します。今月号より図書館だよりに引越ししました。

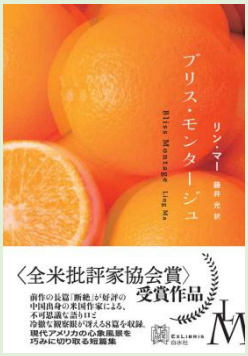
『カフネ』　阿部 暁子／著　講談社　F-ア

法務局に勤める野宮薫子は、最愛の弟が急死し悲嘆に暮れていたが、弟の遺志に従い弟の元恋人・小野寺せつなに会うことに。不愛想なせつなに憤る薫子だったが、疲労がたたりその場で倒れてしまう。家まで送り届けてくれたせつなに振る舞われたのは、彼女の態度からは想像もしなかったような優しい手料理だった。久しぶりの温かな食事に身体がほぐれていく。そんな薫子にせつなは彼女が勤める家事代行サービス会社「カフネ」の仕事を手伝わないかと提案する。食べることは生きること。二人の「家事代行」が出会う人々の暮らしを整え、そして心を救っていく。**2025 年本屋大賞受賞作。**

『ちいさなトガリネズミ』　みやこし あきこ／作　偕成社　91-ミ

トガリネズミは働きもの。朝おきてから夜ねるまで、毎日きまった予定をこなし、つつがなく暮らしています。でも今日はひとつだけ、いつもと違うことがありました！　ひとめ見たら忘れられない、つぶらな瞳のトガリネズミ。そのささやかでありふれた日常を、独特のおかしみをもって描きます。国内外でいくつもの絵本賞を受賞し、海外からも高い評価を得ている絵本作家が初めて手がける絵童話！**英語版“Little Shrew”が、2024 年ニューヨーク・タイムズ紙／ニューヨーク公共図書館 最優秀絵本賞受賞。**

『ブリス・モンタージュ』　リン マー／著　藤井 光／訳　白水社　933-マ



本書は、中国出身の米国作家リン・マーの長篇『断絶』に続く第一短篇集。人間関係における暴力や、存在の孤独という、マーの中核的主題が前景化され、人と時代に対する鋭い観察眼と、物語を組み立てていく手腕の凄みが際立つ。

〈全米批評家協会賞〉と〈ストーリー・プライズ〉を受賞、『ニューヨーク・タイムズ・ブックレビュー』では、「予測不可能な展開を見せ、読了後も心に残る」と評され、短篇の名手としてもマーの才能を確かなものとしている。

4/20 読売新聞朝刊掲載。

『〈自由市場〉の世界史』　ジェイコブ ソール／著　北村 京子／訳　作品社　331

ベストセラー『帳簿の世界史』著者、最新作。〈自由〉な〈市場〉とは、人類が抱いた「夢」に過ぎないのか？「見えざる手」のアダム・スミスから、更に遥か古代ローマに遡り、世界史の中で、人間と経済の根源を探求する壮大な旅。「自由な市場は、「自由放任」ではなく、人間の手による絶えまない調整によって初めて実現する」――現代の概念を、長い歴史にルーツを持つものとして、魅力的なストーリーの中に描き出すことで知られる著者が、この逆説に挑む！

2/1 日本経済新聞朝刊・ 2/23 読売新聞朝刊掲載。